

令和元年度 第1回 市長と市民とのくつろぎトーク

『普段多摩市でどのように感じているか』

『どのようにしたら多摩市がもっと魅力あるまちになるか』

令和元年9月29日（日）10時30分から12時15分
場 所：関戸公民館 第3学習室
参加者：3人（男性2人、女性1人）

司会（秘書広報課長）

ただいまから市長と市民とのくつろぎトークを開催します。本日は大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

まず、初めにこの対話会についての概略を説明させていただきます。

この会は、平成22年度からやっております、市民の皆さんが普段感じられている市政のことなど、ご意見を聞かせていただくため、比較的少人数の中で行っています。昔は、公民館使用団体の方や市内企業の若手や中堅の方など、対象を絞って行っていましたが、近年、無作為抽出の形で皆さんにもお願いさせていただいております。今回は、同世代、40歳の方にお集まりいただいておりますが、この形で行うのは今回が初めての取り組みです。みなさんの色々なところで共通事項などあると思いますが、ご意見も聞きながら、市長と一緒にくつろいだ雰囲気で行ってください。お菓子も用意してありますので、そちらもお召し上がりいただき、忌憚ないご意見を聞かせていただきたいと思います。

* 事務局自己紹介

* 各自自己紹介の概略（発言順）

- Aさん 地域：馬引沢1丁目 多摩市居住歴：約5年
- Bさん 地域：一ノ宮4丁目 多摩市居住歴：約10年
- Cさん 地域：落合1丁目 多摩市居住歴：約2年

Aさん

多摩市は5年目です。妻は40年目になり、馬引沢1丁目に住んでいます。

犯罪情報など、たま広報は見ています。多摩市はいい市だと思います。妻や義理の弟、保育園の友達も言っています。

Bさん

多摩市は10年位です。静岡出身で、以前は溝の口に住んでいました。職場が桜ヶ丘で、初めは関戸、その後、一ノ宮に住んでいます。治安も悪くなく住みやすいと思います。たま広報は2歳の娘がいるので、夜間医療機関の確認などを見ています。地域の方々も温厚な方が多いと感じます。

Cさん

多摩市は2年位です。以前は中央区に住んでいて、結婚を機に引っ越しました。仕事が都心なので多摩市は寝泊まりのみです。子どもができ、自治体に興味を持とうと思い参加しました。興

味はありますが、情報は持っていません。

市長

私は、小金井から世田谷、その後多摩市へ引っ越しました。霞が関に通勤していたサラリーマンで、京王線でいつも満員電車で揺られて通勤していました。Cさんが言われたこととまったく同じで、ただ寝に帰っていただけでした。私も子育てで3人、このまちで育て、子どもを通して地域とのつながりとか、学校・保育園とのつながりを通して、行政や市政が見えてきました。私の頃は、まだ、今のような待機児対策は行われておらず、何回チャレンジしても多摩市の保育園には入れなくて、当時、一人でやっている保育ママさんと言うのがあって、そこへ預けていました。保育園に子どもを預けることがなかなか大変で、四苦八苦して、何故、市は助けてくれないんだということを思いました。そんな引っ越してきた人間です。皆さんのお話をお伺いして、私も昔を思い出しました。

では、逆に多摩市を外から見ていてどうだったのかを伺いたいと思いますが、Aさんはこちらに来る前はどちらに住んでいましたか。

Aさん

厚木市です。七沢というところに住んでいました。森林公園の近くで、山の中で、非常に坂の多い所です。空気はきれいでしたが、駅へは遠いです。

市長

奥様の実家の所に住もうと決められたのですね。多摩市の住みよさを感じる瞬間というのはどんな時ですか。

Aさん

厚木市と比べてコンパクトな所と駅へのアクセスです。最初、妻の実家が聖ヶ丘3丁目なので、近くの連光寺5丁目に住んでいて、歩いて永山駅へ30分位で行けます。厚木の際は本厚木駅まで歩いたら2時間でしたから、この差は大きいな、(多摩は)コンパクトだなと思いました。

市長

小さなまちの中に永山駅や聖蹟桜ヶ丘駅、多摩センター駅、唐木田駅があって丘陵で高低差はありますが、どこへ行くにも歩いて行けるまちだなあと私も思います。特にニュータウンエリアは歩車分離で安全に歩くことができる。市長になる前ですが、私は聖蹟桜ヶ丘へ引っ越してきて、多摩センターへ行くことはあってもニュータウンの中を歩いたことはなく、だいぶたってからこんなすごいまちがあったと気づいて、すごい衝撃を受けました。連光寺と聖ヶ丘では違いますよね。

Aさん

聖ヶ丘3丁目は昔からある東部団地のほうなので、連光寺とはあまり変わりません。

市長

少し行くとペDESTリアンデッキをずっと歩けますよね。あれはどう思いますか。

Aさん

あれはいいですね。自転車でも普通に走れるので。ただ問題は夜が暗いことです。ペデは木が多く夜は暗いので危ないと思います。人気がないので子ども一人で歩かせたら危険だと思います。

市長

他にも今まで住んでいた所との違いを聞きたいので、Bさん、静岡から聖蹟に来られてどうですか。

Bさん

聖蹟は、駅の近くに住んでいるのですごく便利です。静岡の時は車がないと移動が不可能なところに住んでいたの。職場が聖蹟だったので職場の近くに住みました。

市長

住むところは、近くに府中市とか日野市とかありますが、聖蹟を選んだ理由はありますか。

Bさん

初めは関戸のこの付近で、職場の近くに住みました。迷うことはありませんでした。今は、子育てしていて公園へ連れていくので便利です。

市長

保育園は入れましたか。公園はどのあたりへ行かれますか。

Bさん

保育園は入れました。公園は、くるまぼり公園や宮之下公園あたりに行きます。この間の多摩川の花火をやった KAOFES (カオフェス) にも参加しました。

市長

Cさんは、ずっと中央区にお住まいだったのですか。

Cさん

はいそうです。生まれは三重県です。都心に住んでいると、近くに駅があってどこへ行くにも便利なので、仕事を中心とした日常を送るには便利です。多摩市へ来てどこに住もうかという選定基準は、駅近で考えて引っ越しをしてきました。多摩市といえども駅から遠い所、アクセスが不便なところには住むという選択肢はなかったです。駅近で住めるような所、生活できるような場所がないと、引っ越し動機にならなかったと思います。

市長

中央区だと交通のアクセスを考えると、埼玉県や神奈川県、千葉県のほうが、選択肢はいっぱいあったと思います。たとえば、流山や柏市、いずれにしても多摩センターと比べれば結構近い所に子育てしやすい所がいっぱいあったと思いますが、あえて多摩センターを選ばれた理由は何ですか。

Cさん

一つ目は妻の実家が、そこそこ近いということ。共働きを前提とした人生設計をしております、そう考えると妻の両親が近くにいてある程度頼れ、支援が仰げるような距離感です。二つ目は、妻は転勤がないので、通勤にも負荷がない所。この二つの条件を満たすところが多摩市でした。

市長

奥様が多摩市の中で働かれているのですか。

Cさん

多摩市ではなく近隣です。実家は八王子市で、車で30分くらいです。

市長

このあたりに選択肢はいっぱいあったと思いますが、八王子市や町田市、相模原市であったり、選ぶポイントはあったのですか。

Cさん

私個人は駅から近ければどこでもよかったのですが、具体的な場所は妻に任せていました。ここに物件があるけど、どう、まあいいんじゃないかという感じでした。

市長

多摩センターに住んでみて、実際はどうですか。

Cさん

住んでみて、駅近に住むのは、都心に住むのと変わりはないかなと思います。

市長

通勤時間はどのくらいですか。

Cさん

通勤時間は、だいたい1時間30分もあればというところです。

市長

確かに寝に帰ってくるだけかも知れませんが、ホッとできるとか、多摩センターのこういう所が気に入ったとか何かありますか。

Cさん

子どもができて意識し始めたことがあって、やはりそれは子育て環境ですね。周りに緑があるとか、それなりの生活用品がすぐに手に入るとか、便利なので安心して暮らしていけるかなと感じています。都心にいる頃は、そういうことは考えていなかったのですが、仮に自分がもし都心に住んでいるという前提で考えた場合、週末は常にどこか緑のある所へ連れて行かなくちゃいけないのかなあとか、そういうことを考えると歩いてすぐに公園があり、いろいろなものが揃っている多摩市というのはいいい所だと思います。

市長

多摩中央公園はよく行かれるのですか。

Cさん

そうですね。

市長

今度、多摩中央公園にパルテノン多摩や図書館が再整備されるということは聞いたことがありますか。

Cさん

話は聞いています。

市長

目と鼻の先でかなり便利になりますよね。

Cさん

具体的に何が変わるのかというところまでは知りません。

市長

なぜ多摩市を選ばれたのか。あるいは多摩市に住んで気持ちがいいとか、そういう話を聞かせていただいたので、何でも構いませんので、今日、こういうことだけは市長に聞いてみたいと思っているなど、日頃疑問に感じていたことがあれば皆さんの方から出してください。

Bさん

今、子育てをしています。聖蹟桜ヶ丘に住んでいて、多摩センターへ行くのが遠いというのがあります。遊ぶところに連れて行くとなると、多摩動物公園駅の京王のレールランドや八王子にも行きます。近くに土日やっている遊べる場所がないため、府中駅近くにある市の施設の「たち」によく連れて行ったりするので、聖蹟に屋内で遊べる場所を作っていただけたら。それだけ伝えようかと。多摩市のホームページはよく見えています。保育園が関戸に今度新しく二つできるので、すばらしいことだと思います。子育てに力を入れていらっしゃるということはわかります。

市長

屋内で子どもを遊ばせたいということですか。

Bさん

そうです。外は、夏だと暑くて公園で遊べなかったり、雨の日もあるので。

市長

多摩センターのレンガ坂の横にできている施設がありますよね。

Bさん

そうですね。多摩センターにできたんですね。有料の年会費を払う施設がありますね。そこも行ったりはしますが、多摩センターまで行くのが遠いなって思っています。

市長

堀之内にも雪がある施設ができたんですね。

聖蹟桜ヶ丘から京王相模原線の方へ行くアクセスは、一応、バスは出てはいます。

Bさん

バスに乗って行ったりはしています。あとは車しかないのです。

市長

聖蹟桜ヶ丘に屋内でという場所はあまりないですね。

Bさん

以前、聖蹟桜ヶ丘のオーパの5階にあったのですが、それがなくなってしまって、民間とかでもいいのでほしいです。

市長

屋内の遊び場の話が出ましたが、この件について、他の皆さんから何かありますか。人によっていろいろなので。屋内がいい方や何もない公園がいい方、大谷戸公園がありますが遠すぎるとか。

Bさん

聖ヶ丘のほうには公園があるので、いい所だと思います。

Aさん

大谷戸公園は永山の駅からちょっと歩きますね。子どもが4歳と下の子がまだ2歳なので歩いて行くには行けませんが、帰りがへばってしまい、かなりきついです。

市長

Cさんの所のように大きな公園が目前にある所と、聖蹟桜ヶ丘は多摩川があつて、一ノ宮公園もあつて、そういう良さもあります。屋内の施設は企業にがんばってもらわないと。

Cさん

地図を見ながら公園はどのくらいあるのだろうかと見ていたら、かなりの数がありますね。大小が点在していますね。

市長

多摩市は東京都内でもっとも公園の数が多い所で、一人当たりの公園の面積でいうと大体14平米、普通の自治体が5平米くらいですので倍以上あります。公園は他の自治体に比べればものすごい数ですね。

司会（秘書広報課長）

今日、お配りした、このカラー刷りA3判の『多摩市基礎データ集』の左下にもありますが、一人当たりの市立公園面積が多摩地域の26市の中で1位になっています。稲城市、八王子市、町田市も多いですが、それよりさらに多くなっています。

Cさん

広さを問わなければ全体的に徒歩圏内にありますね。

市長

子どもの遊ばせ方は、それぞれ皆さん価値観が違うので、Bさんが言われたように、屋内でボール遊びができるとか、何もない公園を求められる方もいます。昔は何もない公園を求める方が多かったのですが、今はそのような公園ではなく、多摩市でアンケートをすると若いお母さんた

ちから屋内で遊ばせられることができる場所が欲しいという声が結構多いですね。今度パルテノン多摩の大規模改修の時には、4階部分を屋内で遊べるようなものに改修する予定です。これはただ単に遊べるだけじゃなくて、子どもを預かったり、府中市でやっている「たち」のようなものを多摩センターにも作ろうということで、そこはそういう機能を持った場所になってくるだろうとは思いますが。ただBさんからすると聖蹟からではね。

Bさん

多摩センターは遠いので。確かに多摩中央公園は広くていいですよ。

Aさん

先日参加した市民フォーラムの話になってしまいますが、多摩センターは栄えていて永山が全然栄えてないじゃないですか。永山を何とかしてほしいなあ。

司会（秘書広報課長）

永山は公民館の中に保育室があって、その開放とかはやらせていただいております。

市長

多摩市内では、永山は逆にコンパクトで買い物をしやすかったり、あちこち歩かなくてもまとまっているところがあります。広々とした開放感がある、聖蹟でいうと多摩川とか、多摩センターだと中央公園などがありますが、その部分は永山にはありませんが、私からすると永山はコンパクトで公民館や図書館もあって、歩きやすくいいなあとはいつも思います。多摩センターへ行くと広すぎて大変ですよ。イトーヨーカドーまでは、ココリア多摩センターがあったり、駅前ところに京王を始めスーパーがあったり、全部回って歩くわけじゃないのでどこかへ行ったらそれで終わりという感じです。

Aさん

永山は選択肢がないです。

市長

公園から離れてまちの雰囲気の話になりましたが、Bさんからのお話は、屋内の遊び場ということと公園関係のことでしたが、ではAさん、Cさんから何かあれば。

Aさん

永山が一番栄えていないから、もうちょっと永山を何とかしてほしいなと思っています。

市長

永山は多摩ニュータウンリ・デザイン諏訪・永山まちづくり計画というのがあって、モデル地区として永山でワークショップを開催して市民の皆さんの若い人たちや大学生などによって、どういうふうによりニューアルしていこうかということで動いています。来年（2020年）2月にまたシンポジウムを開催しますので、ぜひいろいろな声を出していただければと思います。グリナード永山が10年後くらいには建て替えていかないといけない、日本医科大多摩永山病院の移転の話もあります。そういう意味では他の地区の人からうらやましく思われるでしょう。日医大多摩永山病院は南多摩地域の周産期医療の拠点病院にもなっていて、いろいろな意味で日医大多摩永山病院を核にして、グリナード永山を含めて手を入れていく時代がこれから来ますので、是非その時に来ていただきたいと思っています。おそらく買物する場所の話ではないかと思いますが。

Aさん

市民フォーラムでも話しましたが、「ららぽーと」を持ってくれば一発で解決すると思います。室内の遊び場もできると思いますし、そんな話を8月のフォーラムの時にしていました。厚木市は隣の海老名市が栄えてきていますので、厚木市と海老名市の関係が多摩市と稲城市の関係にすごく似ているなあと考えています。稲城市も今、開発を小田良地区とかたくさんやっているけど、多摩市は聞かないと思って。昔は多摩市が栄えていたけど段々稲城市になっていく。厚木市が栄えていたけど海老名市になっていくのと似ているのではと勝手に思っています。

市長

南多摩尾根幹線の整備も動き出していて、南多摩尾根幹線沿いにいろいろな商業、あるいは議会などでよく道の駅を作ってほしいと言われますが、尾根幹線沿いが確かに変わっていくと思うので、ぜひそこは期待していただきたいと思います。多摩市は確かに早く開発されたので、成熟した大人のまちでもありますので、稲城は確かにこれからというのがあります。ではCさんいかがですか。

Cさん

3つほど。まず一つは、多摩センター駅付近は駅が暗いなと思っています。主要なところしか歩かないのですが、少し外れると暗くて、もしかしたら怖い人がいるんじゃないかとか、そういう不安をかかえながら歩くことがたまにあります。治安がどうなのかということが実際わからないのですが、死角がある部分に関しては不安です。

市長

京王線、小田急線の所ではなくてタクシー乗り場のところですか。

Cさん

はい。歩くことはほとんどありませんが、近寄りたくないなというのがあって。

市長

私も感じるのはタクシー乗り場のところですが。多摩センターの場合は、北口に全部飲食店街が集中しているのでそのあたりですか。

Cさん

駅からココリアの方向とは逆の方向へはほとんど行かないので知らないのですが、駅前のバスターミナルのあたりが暗いなと思います。何も見えないような暗さではないが、何かちょっと変な雰囲気を感じるというか、ペDESTリアンデッキを歩くのとは違う何かを感じます。階段を下りてくるあたりです。建物の中でもすごく細くて抜け道みたいなのが結構あると思いますが、細い所は近くても、抜け道として使えても通りたくないなあと。その辺がたとえば防犯カメラがあって安心できるとか、すでにあるのかもしれませんが、そういう安心感をもって行けるような、歩けるような所があるといいです。

市長

私もそう感じる場所があって、陸橋の構造になっているので、スーパーの中だけを歩いているならいいですが、外に一歩出て、駐車場エリアとか周辺は確かに暗いなあと昔から感じてはいます。よく市民の方から指摘されるのは、タクシー乗り場の所ですよ。何十年も工事期間中の

よくなっている高架下のところですね。あれはよく指摘されます。駅は顔なのだからもっときれいにしてほしい。表に出るとペデの上は、パルテノン大通りも見通しがよくて、明るくていいけど、言われているのはバスのターミナルで全体に古いところがあると思いますが、そこは何か手を付けていかなければならないなとは思ってはいます。

Cさん

ペデはタイル貼りというのが特徴的にあると思いますが、見方を変えると雨の日とか、よくびしょびしょで水はけがよくない。雪が降ればすごく滑る。その辺、何とかならないかなと。同時に日差しの照り返しがすごく強いです。最近子どもをよく遊ばせていますが、すごく照り返しが強くて、まぶしいです。一方でアスファルトはそんなことはないと思います。その辺が何とかならないかなと思ってます。次にタクシー乗り場やバス停の所に喫煙所があると思うのですが。スーパーの前の方に喫煙所があり、その辺にベビーカーや車いすが移動できるスロープがあると思いますが、煙が上がってくるので、ベビーカーを押しながらそこを通りたくないなというのがあります。喫煙所の場所は人の導線考えた時に、もう少し考える余地がないのかなと思います。私はそこを通りたくないで、ベビーカーを担いで階段を上り下りしています。

市長

喫煙所については、あそこから場所を移そうということで、今、検討しています。

企画政策部長

たばこを吸われる方にとっては少し遠くなりますが、タクシー乗り場の反対側のあたりの一角を少し貸してもらって、あちらに移設することで、年度内には動かせると考えています。

Cさん

小さな話かもしれませんが、資源ごみについて、自分のごみを出した後どうなっているのかわからないのですが、自治体の収入か何かになるのでしょうか。

企画政策部長

ペットボトルなどは有償で引き取りをしていただくので、それについては収入になります。金属類は最終的に多摩ニュータウン環境組合が処分してくれているので、その中でお金になるものは収入としてあります。

Cさん

結構、分別を意識してやっていますが、プラスチックであるとかペットボトルであるとか、それがどの程度のお金になっているのか、なっていないのかとか、その辺がもっとはっきりすると住民の意識が高まるのでは。微々たるお金にしかないならいいやって思って、気にせずにとめて捨てる人がいるんじゃないかと思うのですよ。

市長

あれはお金のことじゃないですよ。元々が燃やせるごみ、燃やせないごみ、リユースできるものは、使いまわしをきちんとしていこうと。資源をどう有効活用していこうということなので、全てを売却するだけではなくて、生活そのものを見直していくきっかけにしようということで、決して集めた物を売却して利益を稼ぐということが目的ではないです。

Cさん

財政という面を考えた時、自分の意識が結構大事じゃないのかなあとと思って、それがすごくお金のインパクトがあるんだったらやる価値はあるだろうし、と最近思います。

市長

そこが、今、地球温暖化で問われているところです。稼げないからアジアに流出して大変なことになって、海を汚している。稼げれば海になんて流れていかない訳で、分別をもっと徹底していかなければいけないのですが、それが売り上げに結び付いていくということではないと思うんです。中には携帯電話であったり小型家電であったり、知らずに捨てているものの中にすごく高価なものが含まれています。そこはきちんと分別してやって行きましょうということですが、問題はプラスチックです。プラスチックについては、金になるどころか厄介者扱いになっているので、せっかく回収したものがそのままアジアに行くということが、今、問題になっています。

企画政策部長

長期計画や財政、広報などをさせてもらっている部門なので、わかる範囲でお答えします。資源物はマーケットがあるところなので、需要が高い時には高く引き取っていただけ、需要がなければ当然逆有償になってしまいます。その部分が資源の難しいところです。全体としては、皆さんが出していただいたもの、きれいに分けていただいたものを、ちゃんと有価物として売却して収入することによって、サービスにもつながるのでやらせてもらっていますが、今、市長から話しがあったとおりに、今までだったら引き取ってくれていた、買ってくれていたところを買わなくなってしまうと、今度はあふれてしまうという状況が、今、出始めている部分があります。ただ、一方でせっかく分けていただいたのに、そこの部分のインセンティブと申しますかモチベーションに繋がらないといけないと思います。集団回収などでは、集めていただいた量に応じ補助という形で市からお出ししているのです、子ども会や自治会や管理組合などで使っていただけるようなお金にはなるので、多分その頑張ってる回収した部分が、こういうものになるよっていうものになっていると思います。あとは出口の部分では、先程市長が申しあげたようなお金を払わないと引き取って貰えない、あるいはだぶついているという状況も、今、出始めているので、改めてグローバル化の中での難しさが出てきているかと思っています。実際にはしっかり対応させてもらっているのですから引き続き分別していただけるとありがたいです。

Cさん

環境問題というのはみんな頭の中にはあって、それを意識しているかどうかは別にしても理解はあると思いますが、目に見える動機づけも、もっと必要かなと思って。長期的に住もうと思っているからこそ、みなさんが今まで以上に意識していくというのが出ていくかなと最近感じるんです。

市長

おっしゃられたとおりで、今、せっかくCさんから資源ごみの話とか、もっと分別をしても出口とか、実際に多摩市で回収してもらっていて今どうなっているのかがよくわからない。環境部では色々なデータを出しているのですが、それが別々に報告されているので、それを年に1回くらいわかりやすくとりまとめて、私たちの出したごみがどうなっているかがパッと1枚でわかるようなものを作った方がいいのかなと、今、話を伺って思いました。

Cさん

ルールが守られているマンションに住んでいて、それだけで気持ちがいいとか、マナーが悪いから多摩市に住みたくないとか、そういうのがもったいないかなと思います。私が住んでいる所

も、たまに分別されていないのがあって、指摘を受け貼り紙をされているのを見て、ちょっと気を付けたらいいのと思うんです。そういうのを守らない人にとっては何らかの動機づけが足りないのが残念だなと感じます。

市長

多摩ニュータウン環境組合で出している「たまかんニュース」というのがあります。多摩市でもたま広報の中で、環境部のごみ対策課がまとめているもので、回収するということに主点を置いているので、それぞれ別の切り口でニュースとして出ています。今おっしゃっていただいたように、もう少し自分が出したごみが最終的にどうなっているのかというところが、わかりやすくそういうのがあったほうが、親も子どもに教えられるでしょう。また、家庭の中でこうやって分別することが、牛乳パックを別々にやっているとか、ペットボトルの周りのビニールを外して出すときの意味とか、きれいにすると高く売れるとか、それがわかりやすくして実際年間通してこれだけのお金になると言いますと、焼却したところも年間1億7千万円くらいをきちんと売電して収入として得られていますということがぜひわかるようにしたいと、今日、Cさんからいただいた提案をもとに考えていきたいと思います。

司会（秘書広報課長）

特に、中央区にお住いの頃はそんなに分けることが少なかったのではないですか。

Cさん

今よりも少なかったですね。

司会（秘書広報課長）

多摩地域は多摩市に限らず分別にかなり力を入れていて、区部は比較的分ける種類も少ないと思います。

市長

昔は夢の島って言っていましたが、区部では今も焼却炉を経て埋め立てるのが主流です。26市の場合は日の出町に最終処分場がありますが、今そこに埋め立てているごみは全部焼却しているか、あるいはエコセメント化しているということで、ここが決定的に23区とは違ってきます。そういう所を含めて、地球環境にやさしいということを求めていただくには、やはりこちらに住んでいただいたほうが、と思っています。

Cさん

住んでいて気持ちいいまちが多摩市で、そこで人が増える、住民税が落とされる。そういう循環も生まれるとすごくいいかなと思います。

Bさん

ちゃんと分別をしていますが、確かに捨てたごみがこの先どうなっているのかというのを、広報の方で出していただければ分けるかいもあるかなと思います。

市長

特に廃プラスチックの問題は、国内で全部循環しているわけではなくて、国内で最後処理ができない部分が海外、特に東南アジア、中国へ出ていることは事実です。ただこれは行政が回収しているものだけではなく、産業廃棄物として回収されているものが、アジアへ行くこと自体を止

めなくてはいけないので、そういうところでも徹底的に分別をしていただいでペットボトルなど含めて、使わない、使ってもきれいに処していくこと、ペットボトル自体が悪者ではないので、これをきちんと回収することによってポイ捨てをしないことをきちんと訴えていかなければなりません。自動販売機の隣にある所へ捨てると、どうもこれはうまくいっていないのかなって気がします。できるだけ、買ったものは家できれいに洗って、分別するようにしていかないと危ないなど感じます。この辺の仕事は、メディアの仕事なので、追跡してやっていかなければなりません。

司会（秘書広報課長）

話は変わりますが、今日、お手元に桜色のお菓子を置かせていただいております。こちらは市内の事業者と検討しながら作ったお菓子で『桜ぼるぼろん』と言います。多摩市産の桜の葉っぱの塩漬けを乗せたスペインのお菓子をモチーフしたものです。「ぼるぼろん」と3回唱えながら食べると願いが叶うと言われてしています。

企画政策部長

市内の企業さんなどでいろいろな特産物ができないかなと、もう10年近く前にそんな話をし、多摩の素材で、レシピはこの近くの調理師学校さんにお話をさせていただいて、やってきた経過があったものです。桜は多摩の桜の塩漬けです。受験時期には桜咲くでいいかなと。

Cさん

素晴らしいなあと一言で片づけるものなのですが、実際は売れるものなのですか。

企画政策部長

最初はパッと売れますけども、そのあと一旦ボチボチかなと、でも定期的にまだ買っていたところなんです。もう一つは、ひとつだけだとなかなかなので、第2弾、第3弾ということはいろいろとやってきているところではあります。

司会（秘書広報課長）

この他、多摩市版の『ことりっぷ』ということで、お配りさせていただいています。皆さん週末どう過ごされているかわかりませんが、いろいろなお店等ご紹介していますので、気になるところがあればぜひ市内でご利用いただければと思っています。

企画政策部長

ちなみにBさんは手に取られたことはありますか。初めてご覧になりましたか。

Bさん

『ことりっぷ』は初めてです。

企画政策部長

前年度位に2万部作って、都内で、書店に置いてまいりました。書店で本を買った時に、袋と一緒にに入れてお渡しして、ぜひ一緒に持って行っていただくという形で配布していました。ご存知の所もあれば、これ知らないなという所もあると思いますが。

司会（秘書広報課長）

今日、いろいろ配ってしまい申し訳ありません。主にマップ系が多いですが、それ以外ですと、

こちらは秘書広報課で『#多摩市広報部員』というのをやっております、インスタグラムを使って多摩市の魅力をみなさんにも発信いただくという取り組みをしています。リアルイベント等もやりながらやっておりますのでよろしければぜひ一度ご覧になっていただければと思います。あと、もうご存知ですかね。今年の7月にテストイベントがございましたが、来年（2020年）いよいよオリンピック・パラリンピックの年ということで、多摩市をロードレースが男女2日間通過いたします。ここで、ラグビーワールドカップでラグビーのルールを知った方も多いかと思いますが、自転車競技も実は知れば知るほど面白いところがありまして、その辺がわかる観戦ガイドということで今日お配りさせていただいております。本当にルールがわかってくると非常に面白い競技ですので、ぜひこちらをご覧いただいて、本番も沿道で応援いただければと思います。

企画政策部長

今日いろいろお配りさせていただいたのは、多摩市もいろいろと変わってくる時期かと、どれほど皆さんに伝わっておられるかと思いますが、たとえば聖蹟桜ヶ丘の北側の所も、今、工事しているのはご存じですか。京王百貨店の裏側の何十年も手つかずであった土地ですが、区画整理をして、あの辺が変わってきます。

Bさん

タワーマンションができるんですか。

企画政策部長

そうですね。予定しています。

Bさん

すごいですね。

企画政策部長

ですので商業施設も若干できたりするような予定もあるようです。多摩センターであれば中央公園、パルテノン多摩、中央図書館も予定をしているところですし、永山についても先程の日医大の話もあります。時系列に行くと、多摩ニュータウンができた最初の所ですので、少し長い目線では大きく変わってくる時期になってきます。いかに皆さんに情報が伝えられるかというところで、すごく苦手なところですけどもいろいろ考えながらやっています。『ことりっぷ』なども初めての試みですが、タイアップしながら、民間の力を借りながら作らせてもらっています。

先程、多摩センターのほうもなんとなく変わりそうだという話は聞いているけれど、細かくはわからないとのことでしたが、そういう情報はどこから入ってくる感じですか。市からは市報や、政策情報誌といったものをここ3・4年、全戸配布という形でポストに入れさせてもらっているので、なるべく固い言葉を使わずに、図柄も入れて、文字よりはビジュアルで見ただけのようなこともやっています。そういう情報はどんな形で皆さんに伝っているのかとか、あるいは市の中の話でどういうふうに伝わっていくのかなど伺えればと思います。

たとえばパートナー経由であったり、あるいは何となくお住いの中から聞こえてくるのか、あるいはこういう情報の中から聞こえてくるのか、伺えるかなと思って今日出席しました。

Cさん

私は完全にポスティングされている冊子だけです。自分自身があまり興味をそこまで持っていないので、手元にある情報を暇つぶし程度で見るとは思いません。

企画政策部長

こういうものが入っているのはご存じですか。

Cさん

たまにいろいろなものが入っているなあと手に取ります。

市長

新聞は取っていらっしゃるのですか。

Cさん

取っています。

市長

あの中に『タウンニュース』というものが折込みと一緒に入っていますが、私も見てびっくりしているんです。本当に市内のいろいろな活動をきちんと取材していただいているので。

Aさん

その時にポスティングされているものを見て、ちょっと勉強させてもらっているといったとこなんですけどね。

企画政策部長

地域からいろいろな情報が入ってくるというのは、お子さんが保育園くらいの頃だとまだまだで、小学校くらいになってくるとまた違ってくるのですかね。なかなかその辺が我々としても、どういう形がいいのか、試行錯誤はしているというところではあります。

Cさん

駅の前とかに、まちがこう変わりますとか、こんな計画がありますとか、電光掲示板じゃないけど、そういうのがあると何か行政もいろいろやっているんだなあって感じがします。

企画政策部長

意外と、ポスターなどが、目につくところにバンと出ているっていうのは違いますかね。目に入りますよね。

Cさん

そう思います。あるとないとでは全然違います。見ますからね。

Bさん

そのほうが住む人が増えるかもしれないですね。

市長

多摩市はあまりやっていませんが、海老名市などでは駅を降りるとすぐのところにドーンとやっていますね。デジタルサイネージ以外でものぼり旗とか横断幕とか。多摩市はどちらかというとやっていないんですけど、そういうことをもっと手掛けていってもいいのかなあとは私も思っています。ただ、なかなかそれを打ち出す場所がなくて。

聖蹟桜ヶ丘で今、ヴィータ、オーパの所に「アイルランドのキャンプ地が多摩市になりましたよ」

と出しています。駅を降りたらすぐにわかるようにした方がいいですかね。

Bさん

多摩市役所って多摩センターへ移転する予定ですか。

市長

多摩センターは、パルテノンの大規模改修、今度図書館を作るということで、特に今、多摩センターへ市役所を移転しようという計画があるわけではありません。

Bさん

ないんですか。ちょっと噂で聞いたので。

市長

多摩センターに、移転してほしいという声はありますし、議会でもそういう声はあります。ただ一方で今の場所から動いてほしくないという声もありますし、聖蹟桜ヶ丘にお住いの皆さんからすると多摩センターへ行ってしまうと遠くなるという声もあって、なかなか難しいですね。

Cさん

そういう意味では、そもそもロケーションを気にしないといけないサービスであるのかどうかという所があると思います。今は銀行も電話で審査とかやったりするじゃないですか。昔に比べてデジタル化というものに対して拒否反応を示す人も少ないでしょうし、デジタルデバインドという言葉は早くから言われてきましたが、10数年前と違って、情報に対してリテラシーがあがってきている現在を踏まえると、その場でやらないといけない、対応できないようなサービスであるのかそうでないのかっていうのを切り分けておけば、そんな話ではないかと思うんですけどね。

市長

おそらく市役所がどこに行くかというよりサービスがどう受けられるかということですね。今言われたように、マイナンバーカードを持っていれば、最寄りのコンビニで住民票なども手に入る時代なので、昔と違って市役所まで行かなくてはいけなくて、休みをとって市役所へ行く時代ではもうないと思います。市役所がどこにあるかということよりは、どういうサービスが受けられるかで市役所へ行かなければいけない。困っている時か、何か会議に出席するとか、そういう時で、普通に説明会とかいろいろな事は地域のコミュニティセンターでやったり、だいたい最寄りのところでやる人が多いので、確かに昔とかなりイメージは違ってきているとは思いますが。年齢の高い人たちからすると、市役所っていうのはそばにないと、と思っている方もいます。ここ聖蹟桜ヶ丘は出張所がありますし、多摩センターにも出張所があります。永山は市役所に近いということで公民館に出張所はありません。その辺はおっしゃるように土日、全く人が立ち入らない市役所が駅前にあってもどうなのかと個人的には思いますが。駅前の1等地に市役所があって、本来、賑わなければならない土日にシャッターが閉まっている。今の時代であれば今のままの市役所か、市役所自体が永山に少し出かけていくかというくらいでいいのではないかと思います。特に多摩センターに市役所を持っていかないと困るということは、ないのではないかと思います。

企画政策部長

さっきおっしゃっていただいたデジタル技術をどう使わせてもらえるかっていうところで、だ

いぶ遅ればせながらですが、前だと市役所へお申込みいただくのは、電話や往復はがき、ファックスでしたが、ここで電子申請を始めさせてもらおうと、時間を選ばなくてできる、スマホでできるというお話もいただきます。それを今度はスタンダードにしていけないといけないなと思っています。

Cさん

15年くらい前の記憶で恐縮ですが、電子自治体ランキングとかで、確か当時は三鷹市とかが1位だったと思いますが、多摩市はどれくらいの水準でしたか。

企画政策部長

多分そこに出てこないくらいの水準でした。逆に全体が底上げしてきているので、わりと新しいことを取り上げてやったところがランキングに入ったのでしょうか、同じようなことがみんなできるようになってきたと思います。ただ、そうではいけないと思ってもいますので。いろいろできることをやっていきたいと思っています。

市長

あと多摩市は特徴的なものがあるって、私が市長になって気づいたのですが、コンビニのサービスというのは、ニュータウンエリアは、なかなか受けられないんです。多摩ニュータウンの方には民地があまりないので、コンビニがものすごく少なく、そのあたりが多摩市の特殊性かなと思っています。

Cさん

離れた所の出張所へ行くのと、コンビニだとそんなに変わらないという気もしますが。

市長

多摩センターにお住まいだとあまり不便さは感じないと思いますが、本当に団地の中に入っていくとなかなかコンビニがないんですね。そうすると、どうしても多摩センター出張所まで行かないといけないということが多くあります。

Cさん

それはすごく負荷が高いですね。

市長

既存地区はコンビニが多いのですが、ニュータウンの方は絶対数が少ないところがあって、その辺でいつも公のサービスをなんとかしなくてはいけないということが課題になっているところがあります。

Cさん

それはお年寄りの方がやはり困っているんですか。

市長

そうですね。

Cさん

仕事している人だったら帰りにコンビニに立ち寄ることができます。

市長

会社のそばのコンビニでもいいですからね。それでもお年寄りの方も常に住民票をとるわけじゃないので。

企画政策部長

堅い話になって申し訳ないのですが、多摩ニュータウンができて、多摩ニュータウンは都市計画でわりとかわちり用途を決められているので、先程、市長がおっしゃった通り、自由に使えるようなところの土地が少ないのです。こちら側のいわゆる既存の区域だと民地なので、かなり自由にできるんですけども、ニュータウンの方についてはそれぞれこういう用途、こういう用途と決められているので、新しくニュータウンにコンビニを作ろうとしても、その自由度が少ないのです。余談ながら多摩センターについても駅の南側はニュータウンで作っているのですが、わりと飲食店は駅前しかありませんが、北側はあまり行かれないって言っていましたが、あそこは区画整理でやっているのですが、どちらかという自由度が高いので、あそこも、できたりなくなったりでいろいろ出入りがありますが、なかなかそれができにくいので、そこが大きく違います。市長が話した特殊性という所もひとつあるので。あとコンビニの利用についても、多分みなさん普通に使われているので、行政のサービスも市役所へ来てくださってというばかりではないので、民間でできるものについては、そこでできる。もうあたりまえですよ。コンビニで税金を収めていただくとか、9月から始まりましたが、住民票等もとれるようになりましたことは、当然のニーズでもあったので、そういうものを始めさせていただいているので、市があちこち作ろうとすると大変ですが、コンビニの基盤があるなら使わせてもらえればいいじゃないですか、そんな風に頭を切り替えながら始めています。あわせてスマホで出せるものはスマホでもいいですよって、何でもかんでもそうはいかないですが、そんなふうにはじめてはいます。

Cさん

郵便局って地域にあると思いますが、郵便局のインフラを使ったら社会基盤の基調みたいなそういうようなのは。

司会（秘書広報課長）

今度皆さんも対象になると思いますが、3歳未満のお子さんがいらっしゃる方が、プレミアム付き商品券の購入の対象になります。そのうち皆さんの所にその引換券が届くかと思いますが、今回は郵便局さんにも協力をいただいて郵便局でもそういった引き換えができるような形にはなります。それはどちらかというアナログなやり方なんですけども。

市長

隣の自治体、確か八王子市では図書館の本の貸し出し、定期便をやっていると思います。多摩市はまだできないんですけども。そういうことはいろいろ考えていてもいいんじゃないかなあと思っています。

企画政策部長

若干脱線する話になりますが、やはりいろいろな地域の資源といいますか、一緒にやらせてもらう所はありがたいと思っています。今、民間の企業さんと連携して、クロネコヤマトさんと連携したり、ここだと京王さんともいろいろやらせてもらって、一緒にできることから始めています。たとえばニュータウンエリアの年配の方がというところで、京王さんと連携しながら移動販売というの始めたのはご存じではないですか。なかなか足を運ぶのが難しい方も、市で移動

販売など当然できないので、京王さんがそれは民間の資本でやる。あとは団地に入っていくときには民間だとなかなか入っていけないところの部分、市と一緒にやることによって、東京都と調整したりとかそういうことでやらせてもらっている、おかげさまでもう数年経ちますが、年配の人が多くですけど、その日にはなかなか買い物に行けない人が、集まって来ておしゃべりしたり、やっぱり自分で買い物へ行くって楽しみですね。そういうのもできるようになってきています。もう一つの企業だってデジタルの話もあれば、民間の皆さんとの連携といいますか、一緒にやれることを考えるっていうのも大事だと思っています。そういうのも少しずつ進めさせてもらっている、おっしゃった郵便局との話っていうのもできることから考えていきたいなと思っています。

Cさん

そういうのは自治体から郵便局とかへ話を持ち掛けるんですかね。あるいはどういふのをきっかけにそういうのはやるんですか。

市長

さっき言った図書館の話は、完全に八王子市から郵便局の方へ話を持ち掛けて、郵便局の負荷が高まるので、郵便局の限られた敷地のカウンターの中に図書館へ返却するポストを置かせていただいて、なおかつそのポストにたまったものを郵便局員が配送グッズを使って図書館へ持って行くということなので、かなりそこまで行くには八王子市が大変だったろうなと思います。私も多摩市でも同じようなことができないのかと思ったりはしている、まあこの辺は図書館と協議しながらってことにはなりますが。企業側もそのことによってメリットがあるのが、ポイントかもしれません。そういう意味では行政だけでなく、相手方からのアプローチもあります。クロネコヤマトによるネコサポステーションというのは、今度は永山駅のグリナード永山の中に入っていますが、あれはそうですね。

企画政策部長

ちょっと手前みそになってしまいますが、ここで、去年から公民連携係を作り、多摩市はそういうことを一生懸命やるまちですよっていうこともあげさせていただくことによって、民間の方々からこういうことできないとかという話もお声がけいただいたところです。民間の方も大分利益だけじゃないよということでは、いろんなことをやっていただけますが、最後の部分でいくとやはり会社としての人の部分も必要なところなので、思いをどこで重ねるか、でも言い出さないことにはスタートしないので、お互いにお話をすることで重なれば事業になってくるし、難しければなかなかっていうのも出ますが、やっぱりまずはお互いに顔みしりになって声掛けをさせてもらって、それはどちらからでもあると思います。できること、できないこと、いろいろまずはざっくばらんな話あたりをさせてもらうことからかなとは思っています。そういうのをやらないと事業が進まないものですから、いろいろな話をさせていただければと思います。

市長

みなさんの方からありますか。時間も12時になってしまうので。

Aさん

最後、聞いてみたいことがあります。ふるさと納税で多摩市って儲かっているのですか。それとも赤字なのですか。

市長

多摩市だけではありませんが東京の自治体はみんな赤字といったら変ですけど、持って行かれる方が多いんです。多摩市は来ていただけるということを前提にしている仕組みを作っているので、多摩市にふるさと納税をやっていただいた方には、ハローキティにあえる街とかサンリオピューロランドとか京王プラザホテルのハローキティルームなどと連携しながら、ホテルのキャラクタールームに泊まれるとか、桜ヶ丘カントリーと連携しながら、ゴルフ練習場で上達するスキルを学ぶことができるとか、いろいろなことを取り揃えながらやっています。いただいているお金がいくら位でしたか。

企画政策部長

いただいているのが大体1千から1千200万円位で1千万円前後のところですが、出ていく方が段々伸びていまして、昨年あたりでも2億何千ですからかなりの負けのほうで、勝ち負けと言っただけではいけないですが、よそに行っているほうが多いです。2億4~5千、3億円まではいかない位です。こんな状況になっています。

市長

住民税がいただけなくなってしまうということで、かなり厳しいです。

Aさん

返礼品に凝れば入ってこないんですかね。キティちゃんのストラップとか。多摩市限定ストラップとかないんですかね。

企画政策部長

いろいろなことを考えながらなんですけど。今やらさせてもらっているのが、もうちょっと額が大きいものなんですけど、京王プラザホテルさんの方にキティちゃんのお部屋もあるので、そういうプランと特別なものをやらせてもらっています。そういうものに合わせてぬいぐるみが入っていたり、いくつか物を入れさせてもらっていますけど。

司会（秘書広報課長）

せっかく寄附していただくので、多摩市にもぜひ来ていただきたいという趣旨で、主には返礼品を揃えているような感じですね。

Aさん

物じゃないんですね。

市長

マグロとか牛肉には勝てないので。

Aさん

キティちゃんの限定ストラップを作って毎年1個ずつ・少額にしてやれば

企画政策部長

そういう意味でいろんなことを。同じことを続けていてもなので、少しずつ変化させながらいろいろ考えます。

Aさん

せっかく多摩市は美味しいのがいっぱいあるから、お菓子屋さんとかいっぱいあるので、『ことりっぷ』に載っているところとタイアップしてやりながらでは。

Bさん

娘が行っている保育園が、今度建て直します。それで多摩市からもうちょっと補助が出ればということで園長が言っていたから・・・そういうことです。

市長

特定の保育園さんだけに特別にという訳にはいかないのですが、どこもみな同じようにやっています。多摩市全体として保育園への支援はすごく手厚くやっています。今度幼保無償化で給食費だけは6,000円ということにしていますが、かかる他の経費は市として支出すると。6,000円についてもまたこのあと東京都あるいは国などを含めていろんな支援の方法が変わってくれば、またそこも、もう少し抑えることはできるとは思いますが。

Cさん

最後に1件だけいいですか。子どもができてすごく意識するようになったのは、どこの学校に通わせようか、将来的にどこの学校に通うかということ意識するようになって、今、情報収集とかしてるんですけど、いいなって思う学校とそうでない学校があります。いいなって思う学校はあったとしても遠くて現実的に通えないのもありますが、今後、リニアとかできて人の動線とか変わることを見据えて、集客力のある学校を誘致するとかそういう動きはないんですか。もちろん土地も必要でしょうけど。

市長

学校は小学校ですか。

Cさん

小学校でも中学校でもいいですが、大学ではなくて小学校とかがあると、やっぱり子育てを多摩市でしたいなあとか思う人が、もしかしたらいるんじゃないかな。大人と子どもがセットでお金を落とす人が増えるんじゃないかと思います。

市長

それだけの広い敷地が、そんなに多摩市にあるわけじゃないので、なかなか今から小学校、中学校を、今、全体少子化なので学校そのものが新たにオープンするのはものすごく難しい時代だと思います。多摩市の公立小学校と中学校では今、タブレットを全校に配布したり、英語教育にもすごく力を入れています。ベネッセコーポレーションもあるのでジーテックという共通試験もあり、多摩市の場合、中学3年生は全額多摩市で負担しているので、子どもたちの負担が一切なく、試験が受けられる。実際先日、先週かな、教育委員会の教育長の話では多摩市は全国平均よりヒアリング、スピーキングのところでは、80点以上だったみたいです。平均が50何点かで相当高いので、公立学校は頑張っています。私立も帝京小学校とかあります。中学校からは多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校とか桜美林中学校・高等学校、大妻多摩中学高等学校もあります。あと、大妻女子大学もあります。今、言った通りちょっと行けばいろいろ周りにあります。進学校も帝京大の中高が確か堀之内にありますし、進学校はほとんど私立の子が大学に行かせるというよりは進学校として存在しているので。この先ちょっと来るとするのは難しいとは思いますが、時代の状況を見ると、先生たちの確保も難しいようですし。でもおっしゃっている意味はよくわかります。

市長

多摩中央公園のところ。もう今始まっていますが、来年の4月にあそこにパイロット養成学校ができます。すでにそこはパイロット養成の学生達がいっぱい来ていて、半年はアメリカへ行って、半年がこちらでまた学ぶということで、正式に学部としても立ち上がると聞いています。小学校中学校ではありませんが、いろいろそういうものは充実していくと思いますのでぜひ長い目で見てください。

Cさん

既存の小学校と中学校を使って、小中一貫校とか中高一貫校とかはありますね。

市長

市内ではありませんが将来的には何か考えて行かなくてはならないと。ただ都内で多くなっている小学校中学校、小中一貫校とは、やはり少子化の影響ですよね。あるいは少子化では発達すると今度は中高一貫で都立高校との連携ですけど。多摩市内でも近いことは永山高校とやっていますが、なにしろ1校しかないの。もっと広域でそのあたりで考えていかないとと思っています。でも小中一貫とか中高一貫はいずれ課題になってくるのではないのかと思います。

司会（秘書広報課長）

ありがとうございます。

市長

今日は限られた時間ではありましたが、無作為抽出ということで40代、これも何かの縁だと思いますので、皆さんは子育てとか多摩市を選んで住んでいただいたということで、今日、いろいろな課題とか問題提起いただいて、やれるところからしっかり改革をしてできるだけわかりやすい、そして住んで本当に良かったと言っていたできるようにしていきたいと思っています。せっかく出会えたというところで何かあれば気軽に私にも言っていただきたいと思いますし、秘書広報課長と企画政策部長も同席しています。せっかくのご縁でもありますので、これからも引き続き多摩市をよろしく願います。また、多摩市の市役所職員だけが広報マンではありませんので、ぜひ、皆さんからも多摩市の良さを発信していただいて、多摩市を盛り上げていただきたいと思っていますのでよろしく願いいたします。今日はお忙しい中どうもありがとうございました。